

第5回水道料金等審議会 会議録

- 会議の名称：第5回甲府市水道料金等審議会
- 開催日時：令和5年8月30日（水）午後3時00分～午後4時30分
- 開催場所：甲府市上下水道局 3階大会議室
- 出席委員：風間ふたば委員、落合圭子委員、五領田周司委員、根津佳明委員、中込敏雄委員、志田昌子委員、雨宮登美子委員、藤森一浩委員、河野昭三委員
- 欠席委員：塩谷知則委員、野村千佳子委員、石平博委員、相川正美委員、矢島静枝委員、花田智委員、伊藤友里委員、田中好久委員
- 傍聴者数：1名
- 次第
 - 1 開会
 - 2 報告事項
 - 3 議事
 - (1) 水道事業・下水道事業の施設更新について
 - (2) 水道料金・下水道使用料の論点整理について
 - (3) その他
 - 4 事務連絡
 - 5 閉会
- 審議内容

【会長】

次第の3「議事」に入ります。まず議題に入ります前に、事務局より前回の審議内容の振り返りをしたいとのことですので、説明をお願いします。また続きまして、議題(1)水道事業及び下水道事業の施設更新についての説明もお願いします。

《事務局説明》

【会長】

長時間となりましたが上下水道事業の現場からの話をご説明いただきました。耐震工事や老朽化対策の必要性について、現場ではどのように行われているかを丁寧に説明いただき、委員の皆さんにつきましても、お金と時間がかかることが

理解できたと思います。私もこのような審議の場に何度も参加させていただいておりますが、現場の話を丁寧に行っていたのは初めてです。

下水道の不明水についてですが、誤接続による雨水や地下水等が下水道に入ってくると、その分が処理場に流入してくるため、その分は下水道使用料収入に反映できないということもご理解いただけたと思います。それでは、内容について追加で聞きたいことがあれば伺いたいと思います。いかがでしょうか。

【委員】

ガスの耐震工事については、铸铁管からポリエチレン管に替えており、東京都や神奈川県でもポリエチレン管の使用をしているようですが、甲府市でも同様にポリエチレン管を使用されているのでしょうか。

【事務局】

主な耐震管として、ダクタイル铸铁管を使用しており、それと並行して小口径の場合は高密度ポリエチレン管も使用しております。また、給水管についても別のポリエチレン管を使用していますが、こちらは耐震管という扱いではございません。本管に関してはポリエチレン管を採用し、現在使用しております。

【会長】

これまでの審議では、上下水道事業の内容や、現場の様子をご説明いただきましたが、この水道料金等審議会では、お金のことをしっかり考え、水道料金等をどのようにしていくかについて検討していく必要がございます。今までの説明と繰り返しになる部分もあるかもしれませんが、水道料金等を考える上でどのようなところに注目して体系を考えていくかの論点整理をさせていただきましたので、事務局から説明していただきたいと思います。

《事務局説明》

【会長】

事務局より説明いただきました。ありがとうございます。事務局からいただいた内容について、ご意見、質問等はいかがのでしょうか。論点整理として進めて

いただきましたのも、次回事務局の料金案を提案してもらいますが、料金体系を考えるに当たってこういったことを配慮しますということを改めて示していただいたこととなります。もし、ここの論点項目で足りないことがある、あるいは、そのほかに配慮してほしい点がありましたらご意見をいただきたいと思います。いかがでしょうか。

《各委員 質疑なし》

【会長】

それでは繰り返しとなりますが、事務局から説明していただいた論点と本日の説明を踏まえ、第6回審議会までに事務局に水道料金の試算をしていただくというところでよろしいでしょうか。

《各委員 異議なし》

【会長】

それでは、私から1点配慮いただきたいことですが、水道口径の13mmと20mmの基本料金について、使用者が使いやすい水道でありつつも、財政状況の見込みがたつ料金体系の試算をお願いできればと思います。

それでは、事務局には、次回の第6回審議会までに試算を作成していただき、次回はその試算について審議をしていくこととなります。

続いて、本日の審議事項（3）その他について皆さまから何かございますか。

《各委員 質疑なし》

【会長】

それでは、次第3の議事は終了させていただきます。

以 上